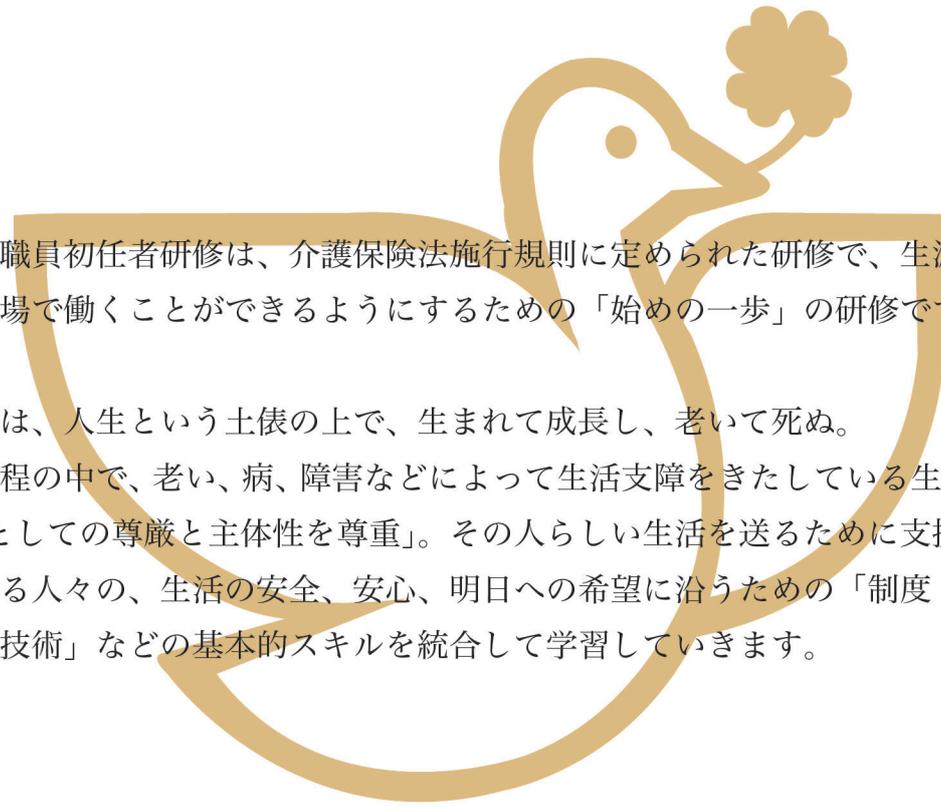


純正会介護職員初任者研修

研修理念

多様な生活障害を持つ利用者様の、状態に応じた的確な介護や、多職種との連携など、人間の尊厳や自立支援に基づいた質の高い介護実践ができる介護者の人材育成を目指す。



介護職員初任者研修は、介護保険法施行規則に定められた研修で、生涯、介護の現場で働くことができるようになるための「始めの一步」の研修です。

ヒトは、人生という土俵の上で、生まれて成長し、老いて死ぬ。その過程の中で、老い、病、障害などによって生活支障をきたしている生活者の、「人間としての尊厳と主体性を尊重」。その人らしい生活を送るために支援を必要とする人々の、生活の安全、安心、明日への希望に沿うための「制度・価値・知識・技術」などの基本的スキルを統合して学習していきます。

介護職員初任者研修担当者（事業担当者、講師）からのメッセージ

加藤容子

はじめて介護を学ぶ初めの一步が、介護職員初任者研修。

純正会介護職員初任者研修は、医師・介護福祉士・社会福祉士・介護支援専門員・訪問看護師で、全員が在宅ケアの現場で働く現役講師です。

少人数で、講師と受講者が垣根なく「介護」を考え、「技術」を修得する研修スタイルです。

修了者は、「研修を受けるまで自信がなかったが、研修後は自信が付き、職場が楽しくなりました」という方や、実務者研修を受講・サービス提供責任者、介護施設の責任者等で活躍しています。

研修事業を担当する者として、受講される方が楽しく積極的に学び、不安なく介護の現場で働けるよう、学びの支援をしていきます。



科目 9. 死にゆく人のこころとからだの仕組みと終末期介護



科目 1. 職務の理解

科目 2. 介護における尊厳の保持・自立支援

担当者より

介護の現場は、年々多様化しています。その中で、どのような環境があって、どのような仕事をするのかを学びながら、ノーマライゼーション等の介護職が学ぶべき理念、歴史と一緒に学んでいきましょう。

科目 3. 介護の基本

科目 5. 介護におけるコミュニケーション技術

担当者より

介護のお仕事は医療や在宅の現場で欠かせない存在です。介護職に必要な基本的な単元を中心に介護未経験の方でもわかりやすく、これまでの経験を交えた楽しい講義になることを心掛けています。



科目 4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携
介護保険制度・障害者総合支援法とその他の制度

担当者より

誰もが最初はわからないことだらけです。
私も元々は何もわからないところからのスタートでした。経験と共に理解できることも増えていきますが、あらためて基礎はとても大事なことだと痛感しています。ここではなるべく分かりやすくご理解いただけるよう努めていきます。お互いの学びの場として有意義な時間を過ごしていきましょう。



科目 4.
介護・福祉サービスの理解と医療の連携
介護保険制度・障害者総合支援法

担当者より

介護は現場で起きています。私もお客様を第一に現場を大事にしてきました。それとともに保険制度や成り立ちを理解することも大事です。理解し裏打ちされたより強固な介護を実現できるようにともに学びましょう。お堅い話しにならずに楽しめるよう心掛けています。





科目 4.

介護・福祉サービスの理解と医療の連携
医療との連携とリハビリテーション

担当者より

心も身体も何かしら不調を伴うと生活にも過ごしにくさを感じるものです。ついできないことを数えがちですが、できることを見つけ、一緒に工夫していくことがリハビリテーションです。その中でも医療、福祉、介護の連携で成り立っていることを学んでいきましょう。

科目 4.

介護・福祉サービスの理解と医療の連携
医療との連携とリハビリテーション

科目 9.

移乗・移動に関連したところとからだのしくみと自立にむけた介護
快適な居住環境整備と介護

担当者より

理学療法士の業務を兼務しながら介護福祉士の業務をしています。共に在宅での訪問サービスが主ですが、両方の視点から、解りやすい講義が行えればと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。



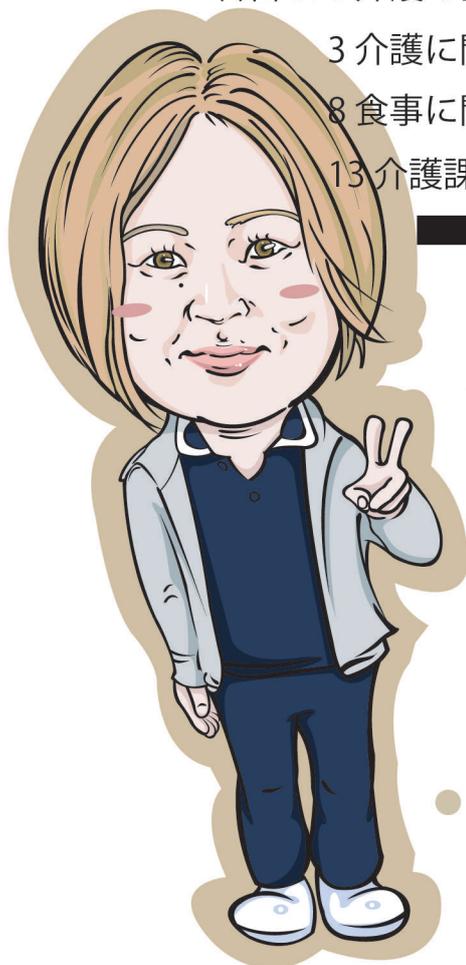
科目 7. 認知症の理解

科目 9.1 介護の基本的な考え方 2 介護に関するところのしくみの基礎的理

3 介護に関するからだの仕組みの基礎的理解

8 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護。

13 介護課程の基礎的理解。



担当者より

楽しくわかりやすい講義となるよう心がけています。
認知症の方との関わり方、食事介助の仕方など一緒に
学びましょう！

科目 6. 老化の理解

科目 7. 認知症の理解

科目 9. 生活と家事、排泄の自立支援



担当者より

2025年には5人に1人、認知症になるという時代です。
どう生活し、生きていくか等、自分や家族にも関わる
身近で、かつ尊厳にも関わる内容となります。ぜひこ
の機会に、一緒に考えて学んでいきましょう。



科目 8. 障害の理解

科目 9. 4 生活と家事 6 整容 9 入浴・清潔保持

10 排泄に関連したところとからだの仕組みと自立に向けた介護

14 総合生活支援技術演習

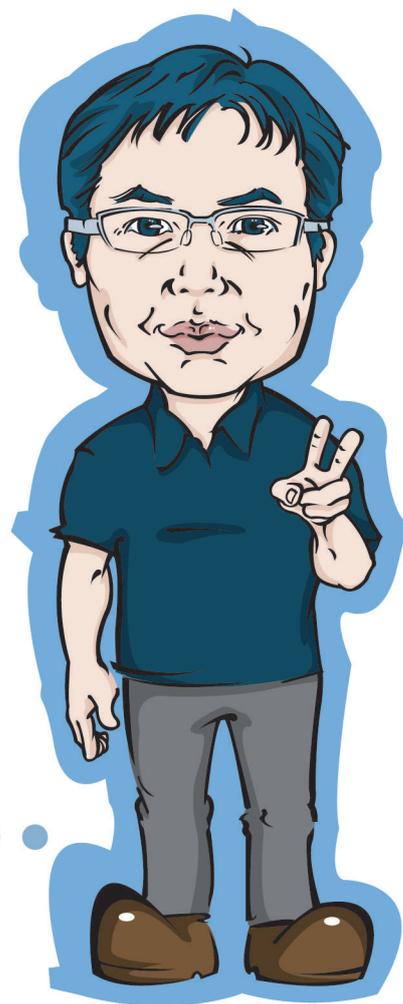
担当者より

障害では、様々な障害のケアのポイントを学びます。
整容・入浴・清潔では利用者さんが「快」になれるようなケアを技術演習を交え学習します。
体験・演習など体を動かす事も多いです。一緒に学びましょう。

科目 9. 快適な居住環境整備と介護

担当者より

高齢化社会になり自宅での生活に支障が生じる様になりました。安全に安心して生活できる、快適な住環境の整備が必要となります。一人一人に合わせた最適な福祉用具や住宅改修が必要であり、介護保険ではそれらの整備を助成する制度もあります。一緒に考えていきましょう。



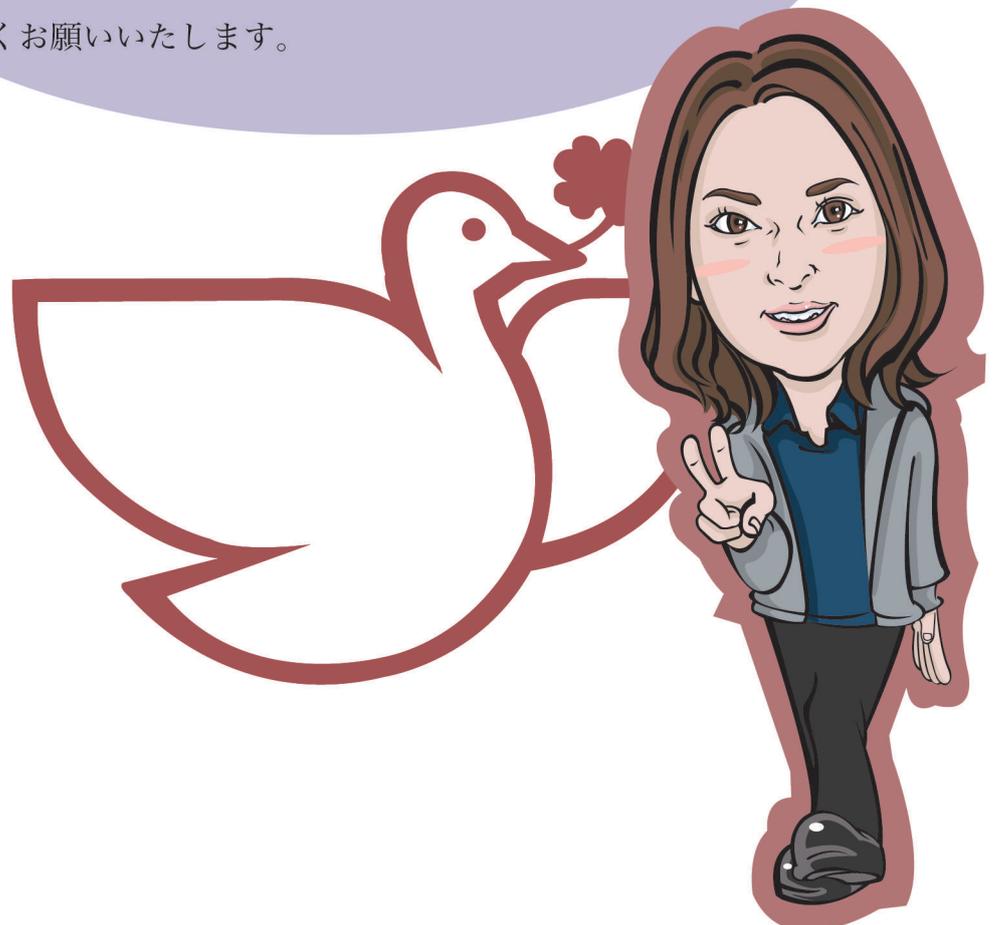


科目 9.

12 死にゆく人のこころとからだの仕組みと終末期介護

担当者より

人は誰しも生まれてから亡くなるまでという共通の過程をたどります。その過程は人や病気により本当に様々ですが、介入の方法を共に学びましょう。介護をする中で活かしてもらえたら嬉しく思います。よろしくお願いいたします。



科目 9.

移動・移乗・食事・睡眠に関連したところ とからだのしくみと自立に向けた介護 / 総合生活 支援技術演習

担当者より

「移動と移乗」

日常生活における基本行為である「移動技術」安全に安楽で無駄な動きがなく、その人なりの方法で移動ができる。介護士として必要な知識と正しい技術を習得して介護現場で個別性に対応できる実際能力を習得しましょう。

「睡眠」

その人らしい心身状況に応じた睡眠介助を学びます。安楽な睡眠ができることをだれもが望んでいます。利用者の心身状況や個別性に応じた臨機応変な安眠のための介護方法と実践へと応用できる力を身につけましょう。

「総合生活支援」

各専門科目で得た多くの知識と正しい技術を、様々な生活ニーズを持った利用者様に対して、多様なサービス提供の場で、即戦力として実践できるように総合的に学びます。

利用者様の「人生の伴奏者」になれるように一緒に頑張りましょう！

科目 9. ところとからだのしくみと生活支援技術

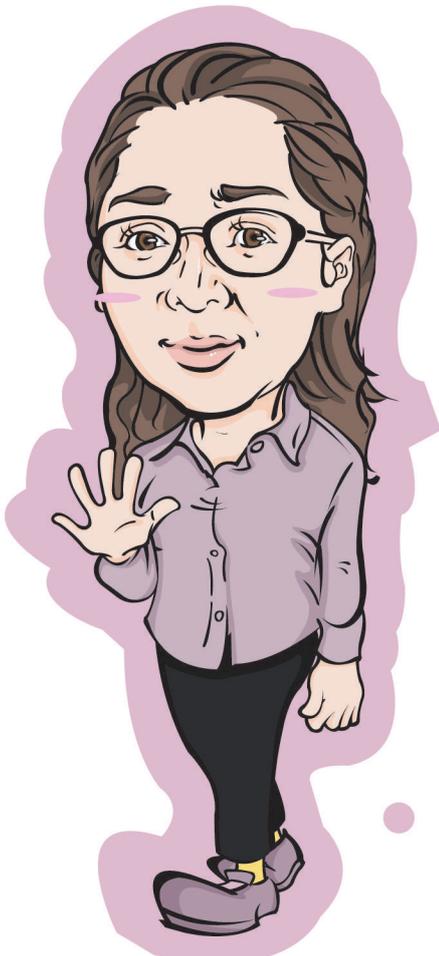
- ・生活と家事
- ・整容・入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた支援
- ・介護過程の基礎的理解

担当者より

2025年、団塊の世代が75才以上になり認知症高齢者の増加が見込まれています。

介護保険を利用して「できること」「できないこと」どうすれば自宅での生活を支えられるか「Coolな頭とHotな心」で一緒に学べたらと思います。

よろしく申し上げます。



科目9. ところとからだのしくみと自立に向けた介護

4 生活と家事

6 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護

9 入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護

10 排泄に関連したところとからだの仕組みと自立に向けた介護

13 介護過程の基礎的理解

担当者より

介護のお仕事は、想定外の仕事がよく起きます。
初任者研修で基本をきちんと学び疑問に思ったことは
何でも聞いてください。





科目 9. こころとからだのしくみと自立に向けた介護
9 入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみ
と自立に向けた介護

担当者より

清潔ケアは介護現場で不可欠なケアです。清潔を保つだけではなく、血行促進や爽快感、リラックス効果など、身体と心によりよい影響を与えます。体験・演習も交えながら、一緒に楽しく学びましょう。